

せい れき	ねん ごう	村 の で き ご と	こうつう・つうしん	く ら し
1902	明治 35			○大風、大雨で67戸がつぶれた。
1901	34			○蓬田に商店ができた。
1898	31			○せきり、ちょうチフスが発生した。
1897	30			○上蓬田の菅船神社が再建された。
1896	29			○凶作、村の青年に剣道がはやった。
1893	26	○第2回村長せんきょがおこなわれた。		
1892	25			○小包郵便がはじまった。
1890	23	○衆議院のせんきょで河野ひろなか 広中氏がとうせんした。		
1889	22	○蓬田村がたんじょうした。 (上、下蓬田、新田、九生滝、鶉子、永田、小松原) ○小平村がたんじょうした。 (小平、中倉、北方、駒形、東山、西山)		
1888	21			○ばんだい山がふん火して灰がふった。
1884	17		○石川一小野新町線道路工事はじまる。	○永田小学校全焼した。
1882	15	○13の村で戸長せんきょがおこなわれた。		
1877	10			○西南の役で戦死者1名だす。
1876	9	○福島、若松、磐前県がわさって福島県となった。		
1875	8	○苗字をつけるようになった。		
1873	6	○税をお金でおさめるようになった。		
1872	5	○東山村ができた。庄屋、名主にかわって戸長、副戸長になった。		○県内に599の小学校ができた。
1871	4	○一両が一円になった。		
1870	3	○永田、大柿、北方、中倉東山が白川県にはいった。 ○土浦藩が蓬田陣屋をひきあげた。		○しゅとうがおこなわれた。
1869	2			○暴風雨で、道路で死んでいる人がいた。
1868	1	○9月8日明治元年にかわった。 ○江戸が東京とよばれるようになった。 ○武士の世の中がおわった。		

(社資No.15参照)